

人口(男) 4,764人
 (女) 5,038人
 合計 9,802人
 2月中の転入 13人
 転出 13人
 世帯数 2,225世帯
 (2月末日住民登録人口調)

広報あいかわ

発行日・52・3・31 (2,700)
 町場課
 田川役
 県町画
 秋田合企
 編集・企

三月定例町議会

新年度二十一億六千八百万円予算

審議案件二十九件原案どおり可決

三月八日招集された三月定例町議会は、三月十七日まで十日間の会期で審議され、条例関係十一件、予算関係九件、単行案件九件の全議案を原案どおり可決、また付託された請願・陳情については、二件を採択、二件を不採択、意見書一件については原案を可決して閉会しました。

今議会は、新年度の予算案の提出とあわせて、一年間の町政のあり方、進め方が説明される定例会とあって、終始真剣な討議がなされました。

員から出されました。

改正する条例の制定

について

非常勤特別職、常勤特別職、一般職の旅費及び費用弁償に関する条

自動車使用料を一回につき二百円を五百円に、普通診

通につき三百円を千円に、自動車使用料を一回につき三百円を一千円に、

断書を一通につき二百円を五百円に、恩給診断書を一

通につき二百円を千円に、

生命保険診断書を一通につき二百円を二千円に、死亡

診断書を一通につき二百円を五百円に、検査書を一通

につき二百円を千円に、身

体検査書を一通につき二百円を五百円に、諸証明書

を一通につき五百円に、身

体検査書を一通につき二百円を五百円に、

百円を五百円に、

普通診断書を一通につき五百円を五百円に、

自動車使用料を一回につき二百円を五百円に、

断書を一通につき二百円を五百円に、

通につき二百円を千円に、

生命保険診断書を一通につき三百円を一千円に、

自動車使用料を一回につき三百円を一千円に、

断書を一通につき三百円を一千円に、

通につき三百円を一千円に、

生命保険診断書を一通につき三百円を一千円に、



新年度予算を中心に施政方針を説明

まず、畠山町長から、二十一億六千八百余万円にかかる新年度予算の内容を中心とする施政の方針について説明がなされ、一般質問は、医療や農林問題、雇用促進、体力振興など当面する重要問題について、五議

員から出されました。

員から出されました。

員から出されました。

新年度予算を中心に施政方針を説明

二面より

ど、問題点が多いので、カントリー・エレベーターの処理能力二、〇〇〇トンを二十五〇〇トンにふやすため、投入口を増設することが理想的であると町農業協同組合と県の指導機関の意見が一致し、農協を事業主体としてその増設を申請しておりますが、総工費は一億円前後でその五〇%が補助となつており、農林省に運動を継続中であります。

林業費に移りますが、第二次林構事業の第三年次分として、務沢林道三八九メートル、上の山林道一、二八〇メートルの工事費及び森林総合利用事業等で五、五三〇万四千円、一般林道補助事業では継続されて来た東根田線に六二〇メートルの事業費二、六六七万四千円を計上して事業を行いますが、これにより同線は全線が完成することになるわけであります。

羽根山沢の併用林道用地費等では一一〇万四千円、高度集約団地協業経営促進事業として着手中の基幹商業道五〇三メートルには二七五万三千円を措置しました。

なお、森林組合に対する助成対策については、同組合理事者の意向を確かめ、具体的な事業内容などについても細かく検討を加えながら対処したい所存であります。

商工对策

資金対策の
向上を図る

商工对策 資金対策の向上を図る

ル、町道舗装十路線二
一〇メートル、改良は六
線一、二六六メートルを
定、その工事費一億九九
万四千円を措置いたしま
た。

公営住宅の建築につい
は二ヵ年継続事業として
二十戸を計画し、国に対
て要望しておりますが、対
年度分として十戸分の建
費及び用地買収費に五、
〇五万二千円を計上して
ります。

次に、消防費について
明を申し上げます。

消防施設の整備拡充に
いては、従来から計画的
実施して来たところであ
ますが、本年度において
防火水槽五基、小型動力
ポンプ一台分七七六万四千
円、その他消防活動費と
て総額五、七八〇万六千
を措置いたしました。

二路子三、次は、特別会計について説明いたします。

国民健康保険事業は、医療費が年を追つて高まり新年度における需要額の見積りは四億円を上回り、これに加えて高額療養費の負担増が国民健康保険財政の運営を著しく困難な状態に追い込んでおります。したがって、目的税としての国民健康保険税は、医療給付費の所要額を基本として算定されなければならぬのであります。しかし推計して、新年度の税額は一世帯あたり九万五千五百円となり、前年度に比較して税額で二万八千五百円の増、四二・五%のアップを示しております。

これに対処するため、町においては国保運営協議会に諮り慎重に検討の結果、九万円にとどめることとし、年度末において予想される歳入不足は、国庫支出金の増額に期待するほか、一般会計からの繰り入れも予定して予算編成をいたしました次第であります。

また、国民健康保険税の賦課割合については、以前からいろいろ検討されて來たところでありますが、増税による低所得階層の担税力を考慮し五十対五十の割合を応能割六〇%、応益割四十%として税負担のは是正を図ることいたしました。

なお、本特別会計の予算総額は三億四、八一一万三千円となつております。

次は、町立合川診療所関係について述べます。

歳出においては、年間の所要経費を措置いたしましたが、その中には患者輸送用マイクロバスの更新経費も含まれており、よりいそう住民への医療サービスに努める所存であります。なお、予算編成にあたって予定した診療報酬であります、これは、一日当たりの患者数を入院十五人、外来七十四人と想定したものであります。

次に、合川町簡易水道施設事業特別会計について説明をいたします。

本町における簡易水道は、合川町簡易水道施設事業特別会計について、その主要事項について申し述べることにいたします。

昭和五十一年予算総額二十

一般会計については、従来の正予算の主要事項について、申し述べることにいたしました。

補正後の予算総額は二億六五五万二千円で五八二七万六千円の減額とりますが、これは、災害確定額あるいは内示額に基づいて補正を行つたものであります。財政欠かん生じないように措置いたしました。

この会計は、準公営会社として独立採算制をとるべきものである関係上、利害の負担の原則により経営改善に努めなければならぬわけで、使用料としての本料金を十立方メートリック一〇〇円の引き上げをいたい、五〇〇円の計算をしましたが、なお一般会計から一、〇九三万四千円の繰り入れを余儀なくされます。

また、量水器の更新にする費用については、これを受益者負担とするこことし、利用者各位の十分な解をお願いするものであります。

正業によるべき利用改善の基助し、また土地改良区では選挙委託費として五万七千円を追加補正しました。

その他、消防費には円を、老人居室整備委託金一五〇万円、老人費、福祉医療費給付金〇万二千円、国民健康保険特別会員の繰出金は三五〇万円をそれ補正いたしました。

国民健康保険特別会員の繰出金は今回、一、六万八千円の補正を行なったのであります。これは記録的な豪雪に見舞われたのであります。また、雪対策費及び町道の維修のため四六一萬二千円を追加補正しております。

次に、特別会計関係について説明いたしますが、国民健康保険特別会員では、国庫支出金の過積額及び保健給付費の見込みの結果、八六二千円を減額補正し、予算総額は三億九五十一萬四千円となりました。

合川診療所特別会計額補正になりましたが、これは診療報酬の減収が三千円の減で、予算総額は億七三八万四千円となるものであります。

簡易水道施設事業特別会計は、施設の運営費中、栄地区施設拡張工事費一定額から三十六万九千円を減額し、総額を五、万四千円といたしま

財政破綻化における 町行政の方向

町民サービス 判断と時期の重要性

以上、数多くの項目について述べて来たのであります。が、いまや国の地方財政計画は益々多様化する地方自治体行政に対応する度合が乏しく、わが合川町もその例から外れてはおらないわけでございまして、財政硬直化の方向が深まりつつあることは否定できないところであります。

そうした状況の中において私は、町行政の進め方として徹底した引き締めを行なながら、町の重要な施策を推進するための財源の確保に努めなければならぬいわけであります。が、かつての高度成長時代における地方交付税の増加配分は、昭和五十一年度あたりから鈍化し始め、新年度における主要財源として期待する見どおりは極めて困難と考えざるを得ないところであります。

町民サイドからみた場合、"市民サービス"的な諸施策の拡大を望むことは当然のことであります。が、個人の家庭と同様に、何んら見とおしのないままに財布の

紐をゆるめるが如きことになつたのは、町の行政も大変なことになるとの認識をあらためて持ちたいものであります。

よつて私は、自立する者を扶ける範囲についての判断が、いま、いちばん重要なことではないかと思つものであります。

わが合川町は去る二月、全国優良町村の一つとして全国町村会から秋田県で唯一の町村に選ばれ表彰を受けましたが、これは町民の誇りとするものであります。

私は、町民の付託に応えるため全力を傾けて努力いたしましたが、町議会議員各位におかれましても立場は異つても、町勢伸展を希う意志は同じと考えられますので、町議会、当局とともに相携えて町勢のより発展の年にならんことを祈念してやまない次第であります。

以上をもつて昭和五十二年度の施政方針の説明を終ります。

財政硬直化における町行政の方向

町民サービス 自立する者を扶ける範囲の判断と時期の重要性

予算総額は、九、三四八万六千円となりました。なお、同地区一五十戸に区住民からの期待は大きいものがあります。

みんなの広場

一地域活動だよりー

おとさんおかあさんも
負けずにお遊び

“やつくり楽し
んでください”

川井老人・婦人交流会

去る二月二十七日、川井
公民館（主任主事吉田正一
郎）では、婦人会と寿クラ
ブのみなさんによる親睦交
流会を行いました。

そこで「豊かな生きがいを
求めて」の河田社教主事の
講話を皮切りに、更に親睦
を深め楽しい一日を過しま
した。

この交流会は、今回で二
回目で、敬老会もかねて行
われたもので、寿クラブ会
員五十名が参加しました。

親子で 楽しいつどい

道城公民館



おかあさん達の手づくり料理でなごやかに



合川ことぶき大学 開設のお知らせ

公民館では、おとしよりのみなさんに、生きがいと実践活動を通して楽しく学習していただきため、下記により「合川ことぶき大学」を開設致しますので、ふるってご入学下さい。

記

◎開設時間 昭和52年4月～昭和54年3月までの2カ年間とする。

◎開設場所 主として合川町公民館とするが、学習の内容によっては移動学習（研修）も行う。

◎対象 町内に在住する健康な60歳以上の男、女50名以上。

◎学習内容 一例

- 開校式（学生会創立、総会）
- 健康に関する事（子ども、婦人）
- 移動研修
- 社会一般学習一町政を学ぶ、地域学習家庭法律、その他
- 大学祭（町産業文化祭）
- レクリエーション、○運動会
- 社会参加に及び奉仕活動の実践
- クラブ活動（趣味）あり

◎卒業証書の授与

2カ年間の学業を終えた人には、学長名による卒業証書を授与する。
又、精勤賞、健康優良賞、その他各賞あり。

◎経費 ○学習に要する費用は原則として、公民館が負担する。

*入学希望者は4月10日まで各部落ことぶきクラブ会長までお届け下さい。

時に、話し合い学習の大切さとそのあり方をも考える
ことができ、非常に参考になるものが多かったよう
に思います。

さとそのあり方をも考える
ことができ、非常に参考にな
るものが多かったよう
に思います。

青山荘を慰問 特養老人ホーム

桃栄婦人会

去る二月九日、桃栄婦人会（会長阿部日出子）では、特別養護老人ホーム「青山荘」（鷹巣地内）を慰問しました。

はじめに、青山荘の園長さんから、施設の概要説明があり、自分たちがお金を

活動状況報告

書を全戸配布
上杉公民館
運営委員会

このほど上杉公民館運営委員会（委員長坂上理一、主任主事笠井健一）では、昭和五十年の各種団体の活動状況と活動経費の決算のあらましをガリ版づくりで全戸に配布しました。

普段あまり関心のなかつた人から、「これは大変わかりやすく、よいことだ」と好評を得ています。全町的に公民館の活動やあり方などがひろがりをもつて行くことが期待されます。

佐藤教育長（公民館長）のあいさつのあと、河田社教主事による「社会生活に

対応する婦人のあり方」の講話を素材にしながら話し合い、学習に入りました。

守りましょう
集会時間を
考へる

八幡岱婦人学級

三月十六日、八幡岱婦人学級を行いました。

佐藤教育長（公民館長）のあいさつのあと、河田社教主事による「社会生活に</p